

2018年3月期 決算説明会

2018年5月9日

取締役兼代表執行役社長 野島 廣司

証券コード: 7419

<http://www.nojima.co.jp/>



Nojima 株式会社ノジマ



目次

- I. 会社概要
- II. 2018年3月期 決算実績
- III. 2019年3月期 取組み
- IV. 2019年3月期 業績予想
- V. 社会・地域貢献

I. 会社概要



Nojima 株式会社ノジマ



会社概要・沿革

会社概要		沿革	
会社名	(株)ノジマ	1959年	野島電気工業社を神奈川県相模原市に創設
本社	横浜市西区みなとみらい2-3-3 クイーンズタワーB 26階	1983年	家電流通業界の中で他社に先駆けPOSシステムを導入
創業	1959年8月	1989年	売上高100億円突破
代表者	取締役兼代表執行役社長 野島 廣司	1991年	(株)ノジマに商号変更
従業員数	連結 7,970名 ※2018年3月31日時点	1993年	郊外型量販店として初のポイントカード導入
連結子会社 (2018年4月時点)	アイ・ティー・エックス(株) (株)アップビート ニフティ(株) コマースリンク(株) (株)ライフメディア ニフティライフスタイル(株) (株)ノジマステラスポーツクラブ Nojima (Cambodia) Co., Ltd. (株)ビジネスグランドワークス シグニ(株) (株)ノジマインフォテック	1994年	日本証券業協会に株式を店頭登録
		1995年	キャッシュバック方式による株主優待制度を導入(日本初)
持分法適用 関連会社	(株)ハスコムモバイル	2006年	売上高1,000億円突破
上場市場	東京証券取引所市場第一部 (7419) (JPX日経インデックス400銘柄) (JPX日経中小型株指数銘柄)	2007年	当社が(株)真電を吸収合併
		2011年	西日本モバイル(株)設立 売上高2,000億円突破
		2013年	チャンアインデジタルワールド(株)(ベトナム)と資本業務提携 カンボジアに子会社Nojima (Cambodia) Co., Ltd.設立 (株)ノジマステラスポーツクラブを設立
		2014年	(株)ケンウッド・ジオビットを子会社化 (株)ビジネスグランドワークスを子会社化
		2015年	アイ・ティー・エックス(株)を子会社化 チャンアインデジタルワールド(株)を持分法適用関連会社化
		2016年	東京証券取引所市場第一部に市場変更
		2017年	ニフティ(株)を子会社化 (株)ハスコムモバイルを持分法適用関連会社化 (株)ジオビットモバイルを(株)アップビートに商号変更
		2018年	ノジマインフォテックを設立 ニフティ(株)のWEB事業の一部を、 ニフティライフスタイル(株)として分社化

事業内容

<連結対象会社>

店舗数は2018年3月31日時点

デジタル家電 専門店運営事業		162店	オーディオ、ビジュアル、コンピュータ、 通信機器、生活家電等、電気製品の販売、 アフターサービスを行う総合電器専門店
	Y!mobileショップ等	34店	Y!mobileショップの運営 関連アクセサリの販売
	 オンライン	-	家電のインターネット販売
	 カンボジア	1店	家電・携帯電話の販売及びアフターサービス
3キャリアショップ 運営事業	  (旧ジオビットモバイル)  西日本モバイル 	663店	主要3キャリア(ドコモ、au、ソフトバンク)の キャリアショップ運営 関連アクセサリの販売

事業内容

<連結対象会社>

インターネット事業	 @nifty	ISP及びWEB事業
	 CommerceLink	ECサイト向けに集客・売上拡大支援のサービス提供
	 Life media	インターネットでのマーケティングビジネスの企画・提供
	 ニフティライフスタイル (2018年4月より)	不動産・求人・温泉サービスの企画・運営
その他	 Stella KANAGAWA	女子サッカーチームの運営
	 Business Grand Works ビジネスグランドワークス	教育研修の実施
	 CYGNI CONNECTING THE DOTS	ペットの医療機関への医療必需品販売ならびに 経営支援サービス提供
	 Nojima infoTec (2018年4月より)	ソフトウェアの開発

<持分法適用会社>

キャリアショップ	 hascom mobile 株式会社 HASKOMモバイル	北海道を基盤として携帯電話等販売
----------	---	------------------

2018年3月期 マーケット状況

- ① **家電販売：**
 - ・エアコン、洗濯機等が堅調。
 - ・テレビ、ブルーレイレコーダー、理美容家電等が低調。
→市場全体では概ね横ばい。

- ② **携帯電話等販売：**
 - ・総務省のガイドラインの影響により、
キャリアブランドの端末販売台数は引き続き低調。
 - ・MVNOや格安スマートフォンの普及拡大等があった。
 - ・キャリアは質の高い代理店への支援を厚くし、
質の悪い代理店の淘汰が進んでいる。

- ③ **インターネット接続市場**
 - ・移動系高速インターネットの契約数が大幅に増加。
 - ・主力のFTTH接続サービスの伸び率は鈍化傾向。

Ⅱ. 2018年3月期 決算実績



ノジマ連結 2018年3月期 決算実績

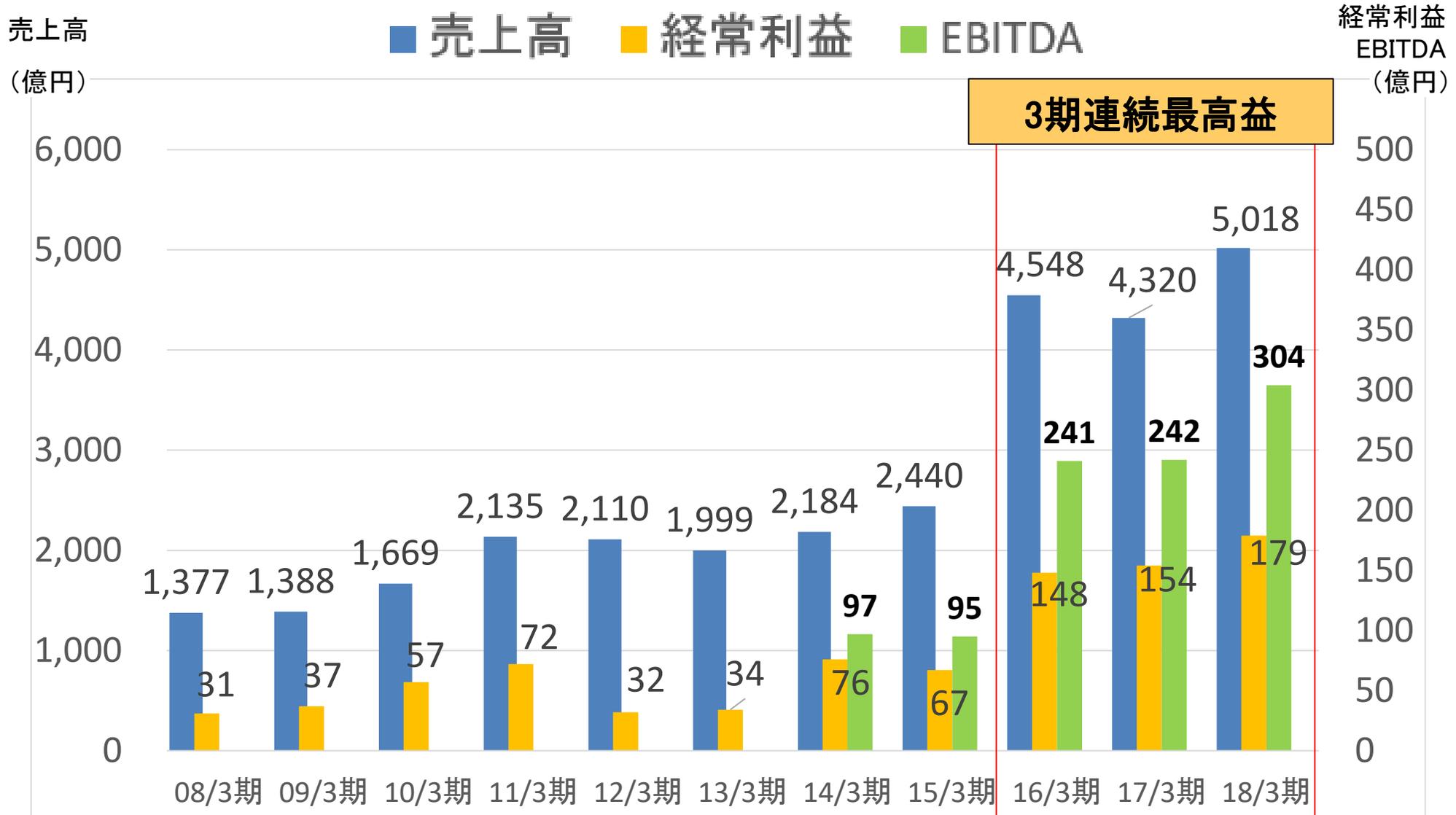
(単位:百万円)

	17/3期		18/3期	
	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)
売上高	432,064	95.0	501,890	116.2
売上総利益	98,421	102.5	118,071	120.0
売上総利益率	22.8%	+1.7pt	23.5%	+0.7pt
販管費	83,330	102.3	101,026	121.2
営業利益	15,091	103.4	17,044	112.9
経常利益	15,479	103.9	17,935	115.9
当期純利益	10,158	76.8	13,634	134.2
EBITDA	24,250	100.5	30,443	125.5
のれん償却前 当期純利益	15,998	83.9	21,949	137.2

※EBITDA＝経常利益＋支払利息＋社債利息＋減価償却費＋のれん償却額

※のれん償却前当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益＋のれん償却額
＋契約関連無形資産償却額＋顧客関連無形資産償却額

ノジマ連結 売上高・経常利益推移



ノジマ連結 貸借対照表～資産の部

(単位:百万円)

	17/3期	18/3期	増減額
流動資産合計	125,581	123,625	▲1,956
現金及び預金	6,489	11,028	+4,539
売掛金	46,467	59,021	+12,554
商品	37,844	41,711	+3,867
その他※	34,781	11,865	▲22,916
固定資産合計	119,886	136,666	+16,780
有形固定資産	24,578	25,947	+1,369
無形固定資産	79,898	92,412	+12,514
投資その他の資産	15,410	18,307	+2,897
資産合計	245,467	260,291	+14,824

ノジマ連結 貸借対照表～負債・純資産の部

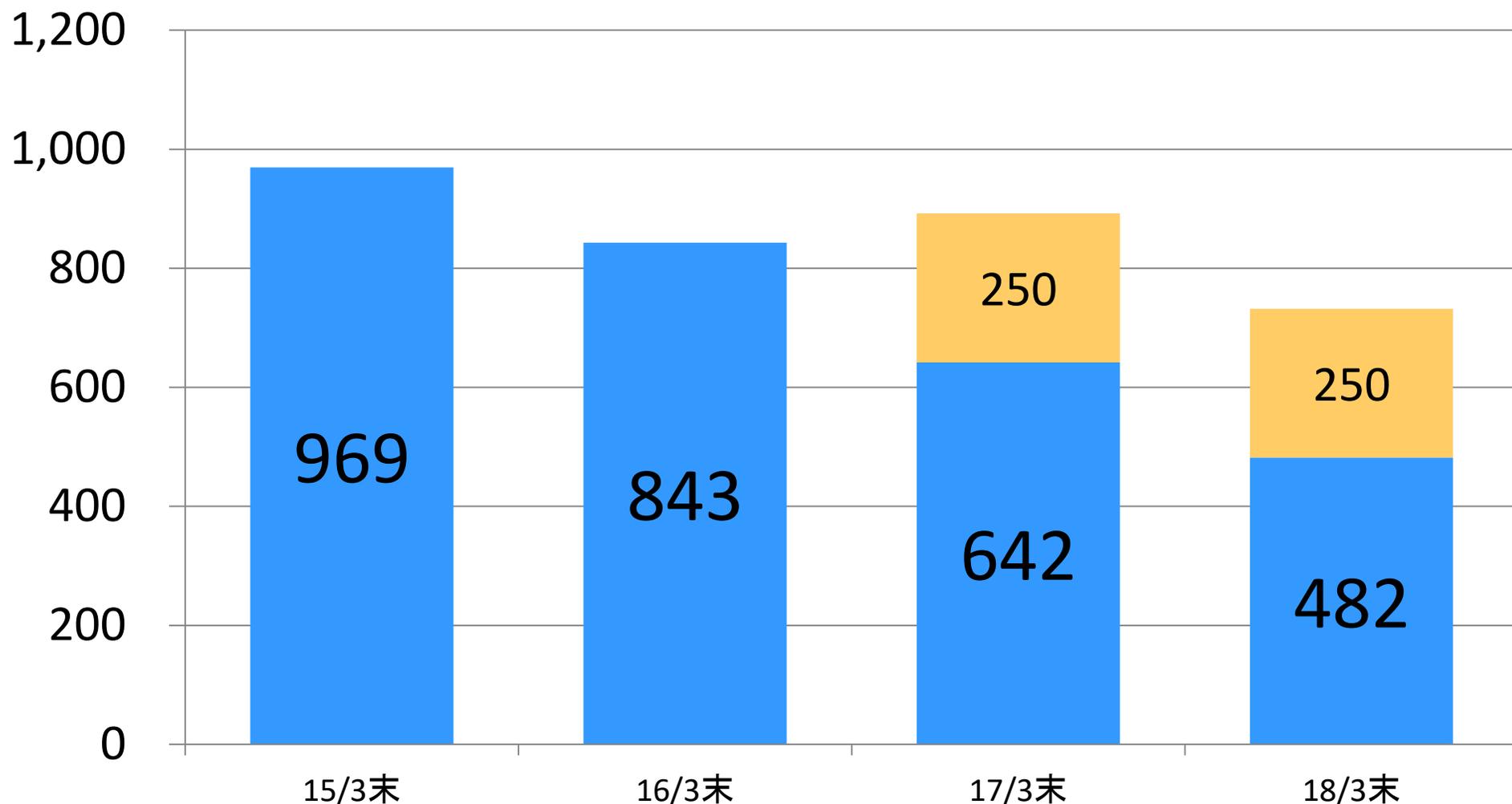
(単位:百万円)

	17/3期末	18/3期末	増減額
流動負債合計	83,854	96,515	+12,661
買掛金	48,263	56,263	+8,000
短期借入金	2,600	904	▲1,696
1年内返済予定の長期借入金	10,111	7,676	▲2,435
その他	22,880	31,672	+8,792
固定負債合計	104,758	94,756	▲10,002
長期借入金	76,498	49,621	▲26,877
社債	0	15,000	+15,000
その他	28,260	30,135	+1,875
負債合計	188,612	191,272	+2,660
純資産合計	56,855	69,019	+12,164
負債純資産合計	245,467	260,291	+14,824
有利子負債	89,209	73,202	▲16,007
自己資本比率	23.0%	26.2%	+3.2pt

ノジマ連結 有利子負債推移

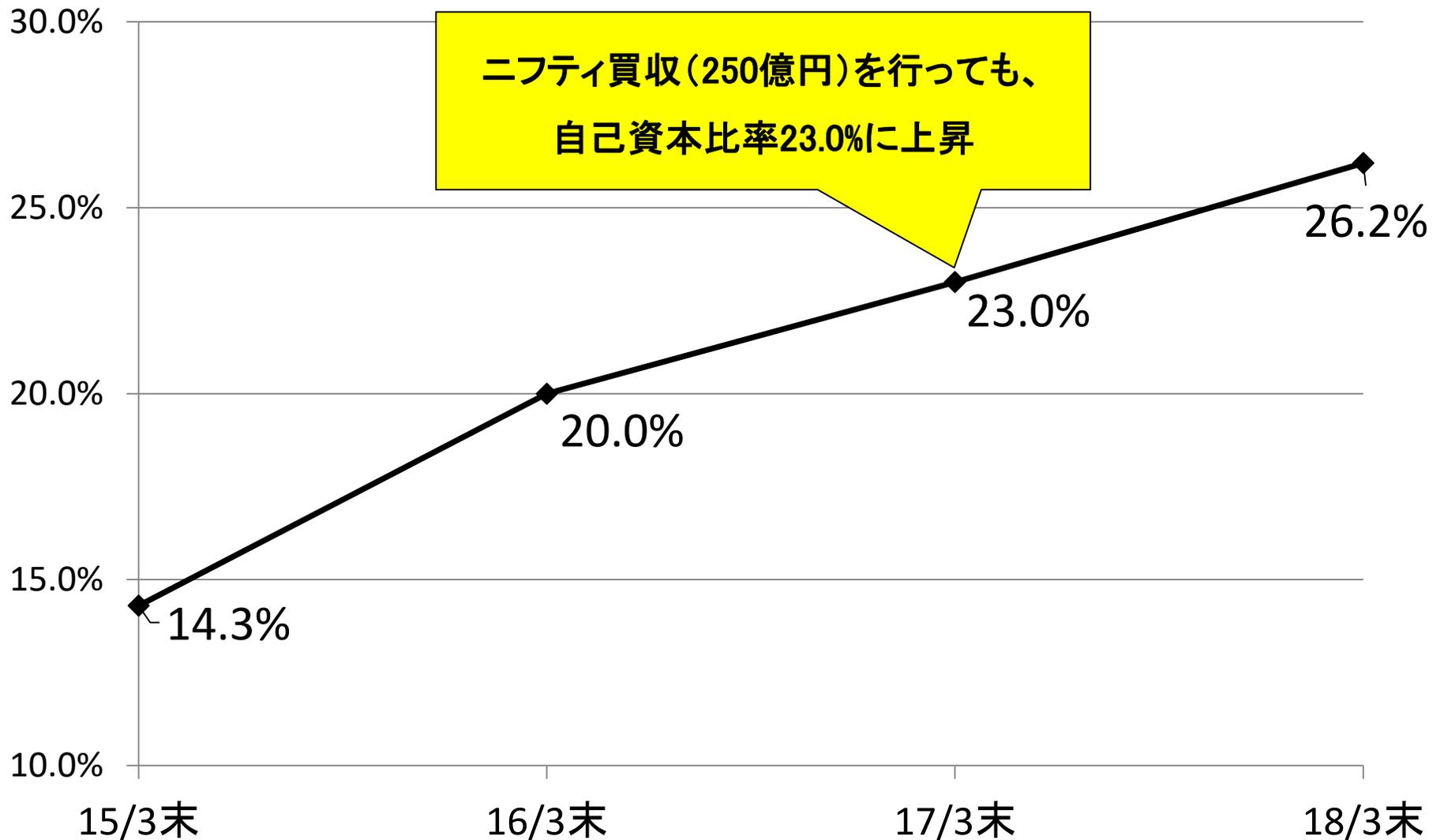
(単位:億円)

■ニフティ買収額相当の借入金



※ニフティ買収価格250億円のうち新規借入した金額は200億円ですが、自己資金50億円も返済に回した場合の想定。

ノジマ連結 自己資本比率推移



ノジマ連結 キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	17/3期	18/3期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	20,393	25,582	+5,189
投資活動による キャッシュ・フロー※	▲30,616	▲1,718	+28,898
財務活動による キャッシュ・フロー	3,734	▲19,075	▲22,809
現金および現金同等物の 増減額	▲6,490	4,688	+11,178
現金および現金同等物の 期首残高	12,765	6,275	▲6,490
現金および現金同等物の 四半期末残高	6,275	10,963	+4,688

※2017年3月期の投資活動によるキャッシュフローは、
主にニフティ(株)の株式取得資金250億円によるものです。

普通社債の発行

リーマンショック以降の
JCR/BBBの初回債として、
日本初の5年債の起債
日本最大規模の総額150億円の起債(2017年5月)

DEAL WATCH AWARDS 2017において

“Debut Debt Deal of the Year” を受賞

第1回ノジマ債(100億円、3年)

第2回ノジマ債(50億円、5年)



THOMSON REUTERS

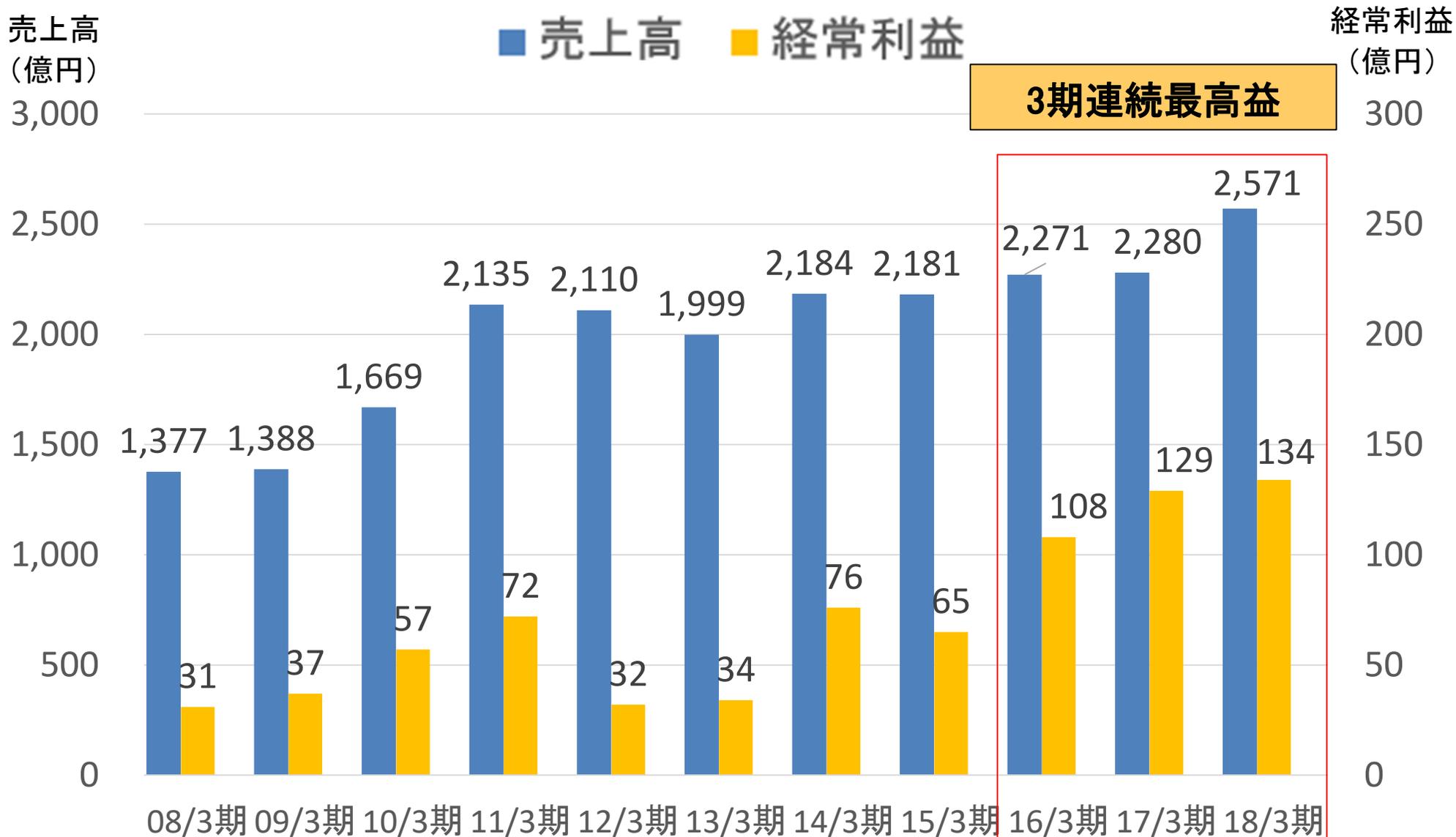
旧ノジマ (ITX・ニフティ連結を除く) 2018年3月期 決算実績

(単位:百万円)

	17/3期		18/3期	
	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)
売上高	228,068	100.4	257,197	112.8
売上総利益	62,706	108.3	67,668	107.9
売上総利益率	27.5%	+2.0pt	26.3%	▲1.2pt
販管費	51,073	105.8	55,709	109.1
営業利益	11,632	120.8	11,958	102.8
経常利益	12,909	118.1	13,439	104.1
当期純利益	8,849	136.8	10,549	119.2

※上記旧ノジマの売上総利益率の低下要因はグループ内の再編によるもので、ノジマ単体での売上総利益率は+0.3%上昇しております。

旧ノジマ (ITX・ニフティ連結を除く) 売上高・経常利益推移

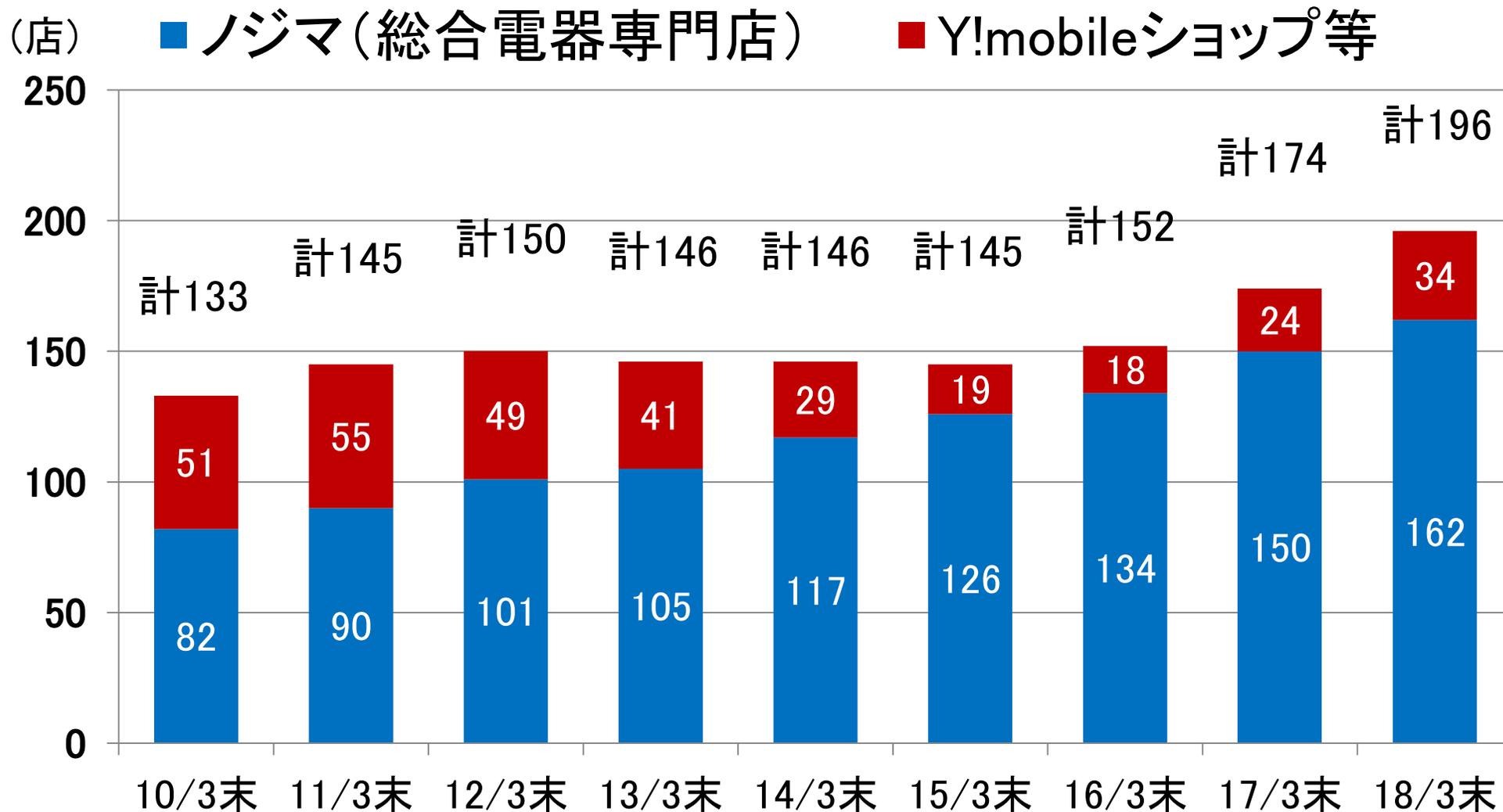


2018年3月期 出退店・改装実績

デジタル家電専門店事業					
	デジタル家電専門店	Y!mobileショップ等			合計
新店	19 (うち移転2)	14 (うち移転1)			33
閉店	7 (うち移転2)	4 (うち移転1)			11
純増	12	10			22
3キャリアショップ運営事業					
	ITX	ノジマキャリア ショップ	アップビート	西日本 モバイル	合計
新店	26	3	15	1	45
閉店	11	—	7	1	19
純増	15	3	8	0	26

デジタル家電専門店 改装21店舗
 キャリアショップ 改装28店舗

デジタル家電専門店運営事業 店舗数推移

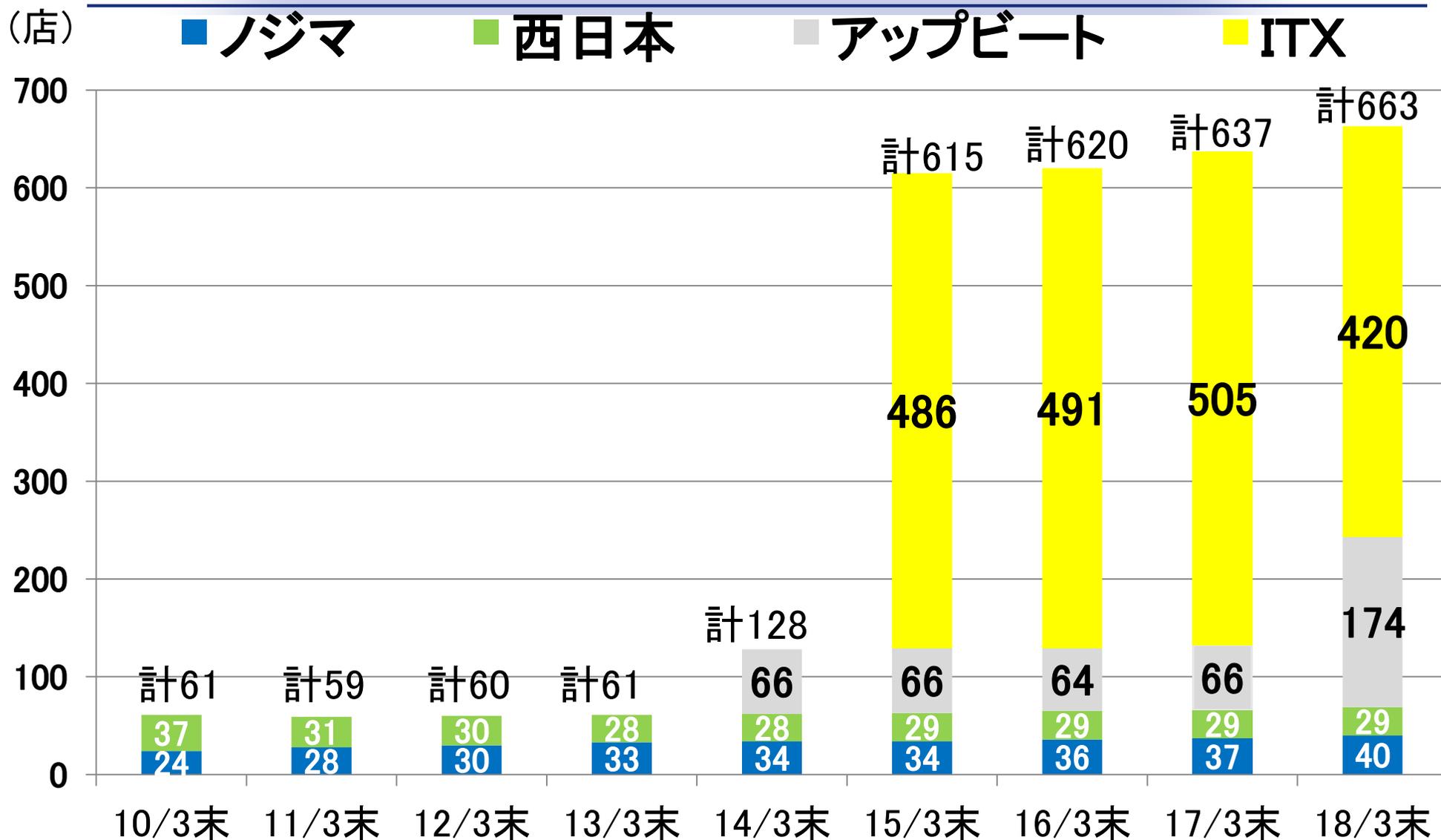


※高級オーディオ専門店「audio square」除く。

※海外子会社の運営する直営店1店舗は含めておりません。

※Y!mobileショップ等: 16/3末は18店舗の内3店舗、17/3末は24店舗の内16店舗、
18/3末は34店舗の内28店舗が Y!mobileショップです。

キャリアショップ運営事業 店舗数推移



ITX株式会社 社長交代

野島廣司

**ITX(株)の代表取締役社長就任
(2017年4月1日より)**

「ITXのV字回復」へ向けて



1. 組織をシンプル化して、
営業・管理部門の責任者を明確化

→みなとみらいへ本部（営業・管理部門）を統合
営業はこれからノジマ流で上げていく



2. 販管費をノジマ流で削減

→勤務形態の見直し等、働き方改革の実行



3. 店舗の質強化

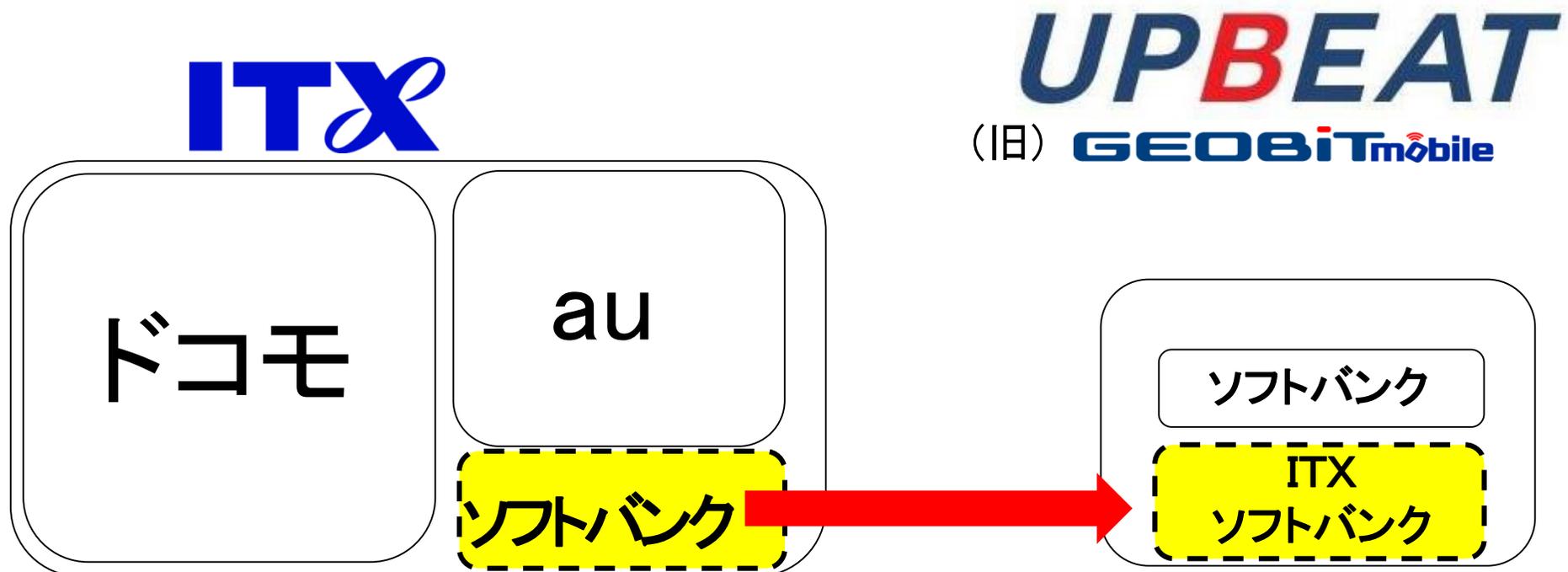
→ノジマからの出向者がITX店舗にて活躍



ITXのソフトバンク事業を、アップビートへ移管

移管日：2017年7月1日

ITXのソフトバンク事業をアップビートに移管し、アップビートはソフトバンク系に特化して、より質の高い店づくりを行っていく。



ITX 2018年3月期 決算実績

(単位:百万円)

	17/3期		18/3期	
	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)
売上高	203,996	89.6	187,707	92.0
売上総利益	35,715	93.7	34,182	95.7
売上総利益率	17.5%	+0.8pt	18.2%	+0.7pt
販管費	32,256	97.3	30,008	93.0
営業利益	3,458	69.7	4,174	120.7
経常利益	2,569	64.8	3,586	139.6
当期純利益	1,308	19.4	2,297	175.5

※18/3期の本年実績には、2017年7月1日付ITXのソフトバンク事業をアップビートへ移管している為、3ヶ月のみの計上となっております。

ニフティ株式会社の子会社化

2017年4月1日付でニフティ株式会社のコンシューマー向け事業を承継した会社の全ての株式を取得し、子会社としました

@nifty 

Nojima

ITX



「ニフティの業績V字回復」へ向けて

1. ノジマ従業員をニフティへ
2. 人の目利きによる正当な評価

→ノジマ流の考え方の浸透

実績とプロセスを踏まえた評価で
適切な昇降格

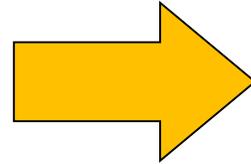
3. ニフティの販管費削減

→数字をオープンにして費用対効果を意識

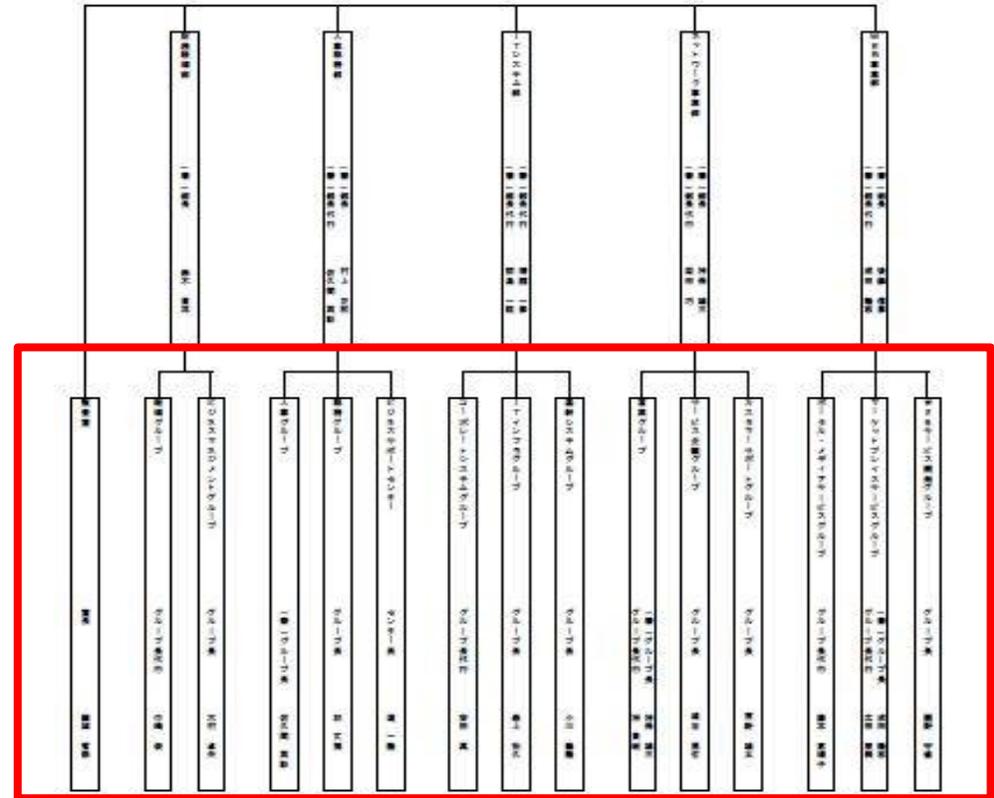
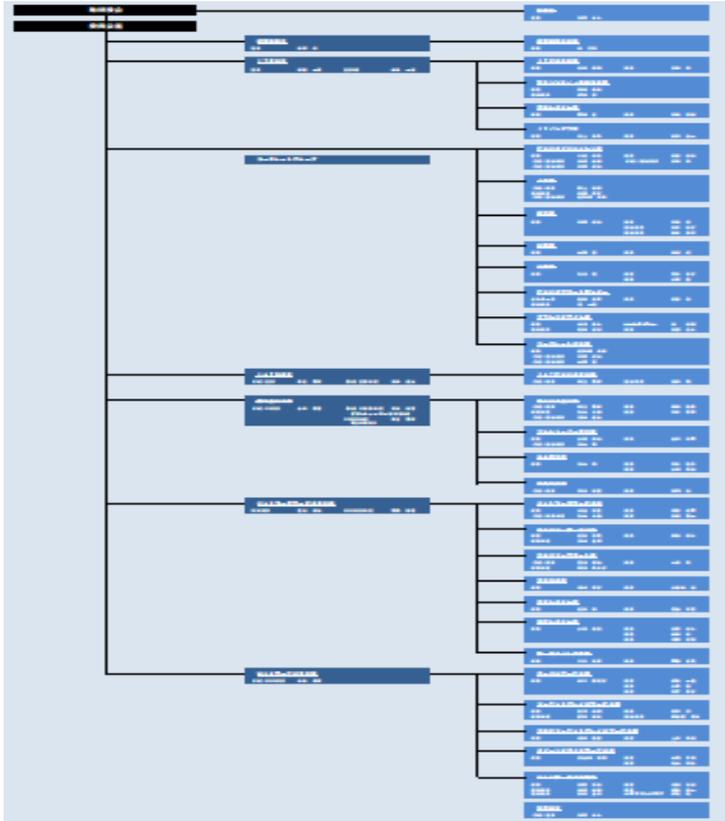
不採算事業の見直しで売上総利益は改善したが
売上を伸ばすことができず**トップラインに課題**

ニフティの組織のシンプル化と責任の明確化

旧組織：32部署
2017年4月



新組織：15部署
2017年10月



ニフティ連結 2018年3月期 決算実績

(単位:百万円)

	17/3期		18/3期	
	実績 (連結対象外)	前年比 (%)	実績	前年比 (%)
売上高	59,438	98.7	56,985	95.9
売上総利益	15,145	96.7	16,219	107.1
売上総利益率	25.5%	▲0.5pt	28.5%	+3.0pt
販管費	13,613	96.5	12,920	94.9
営業利益	1,531	99.3	3,299	215.4
経常利益	1,434	96.3	3,334	232.4
当期純利益	915	98.9	2,717	296.7

※17/3期は、買収した事業のみの数値を算出しています。

※18/3期は、ニフティ(株)買収関連ののれん償却費等の2,388百万円を、
ノジマ連結の際に計上する為含めておりません。

Ⅲ. 2019年3月期 取組み



2019年3月期 取組み

- ① ノジマの更なる成長
- ② ITXの質向上で営業の回復
- ③ ニフティの会員数回復

他社を圧倒する採用数

- ・新卒採用実績数

2016年4月 613名

2017年4月 713名

2018年4月 837名

2019年4月 960名（予定）



お客様のニーズに合った
コンサルティングセールスのできる人材の強化

会社の質を高める

健康経営優良法人 ホワイト500に認定！

評価されたポイント

- ①健康推進の組織体制
- ②健康課題の把握・対応
- ③残業削減の取組み
- ④施策全体の効果検証・改善

家電専門店
業界初

従業員一人一人の成長により事業を発展
⇒今後も従業員の健康維持に取り組み、
日々改善していく。



2018
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

株式会社ノジマインフォテック

目的：

1. グループ横断のITでシナジー創出
2. ITに特化した人材を採用
3. 新規ITサービスの開発・提案

今後システムへの投資を行うことで
店舗の生産性を向上

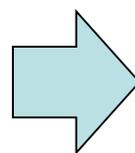
■ノジマカンボジア



イオンモールプノンペン内の1号店

<人員体制の強化>

- ・ノジマ従業員から
優秀な人材を出向

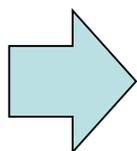


2018年3月期（通期）
黒字に転換！

今後、店舗拡大も視野に！

■ベトナム

2013年より出資していたチャンアインデジタルワールドが
ベトナム携帯販売最大手のテーゾイジードン傘下へ



- ・チャンアインデジタルワールドの株式を売却
- ・テーゾイジードンへの出資



Quality
of price
高品質で
低価格を実現

お客様のニーズに合わせた
商品の開発・販売

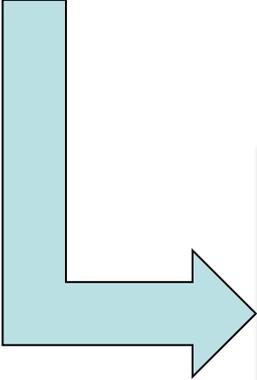


4K対応TV



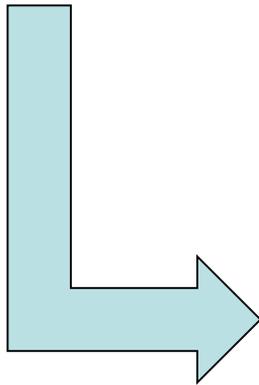
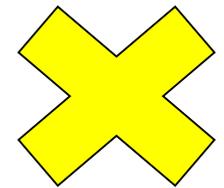
横浜DeNAベイスターズとの
コラボ商品

働き方改革の実行で**販管費のコントロール**は進められたが、**営業面**を伸ばすことができず



今期は営業部門にノジマ流を浸透
販売を強化していく

店長が経営者として会社の現状や
自店舗の現状を理解できていなかった



店長会議を実施

⇒ 自店舗の現状を理解し、
信賞必罰をオープンに。
良い店舗・人を伸ばしていく

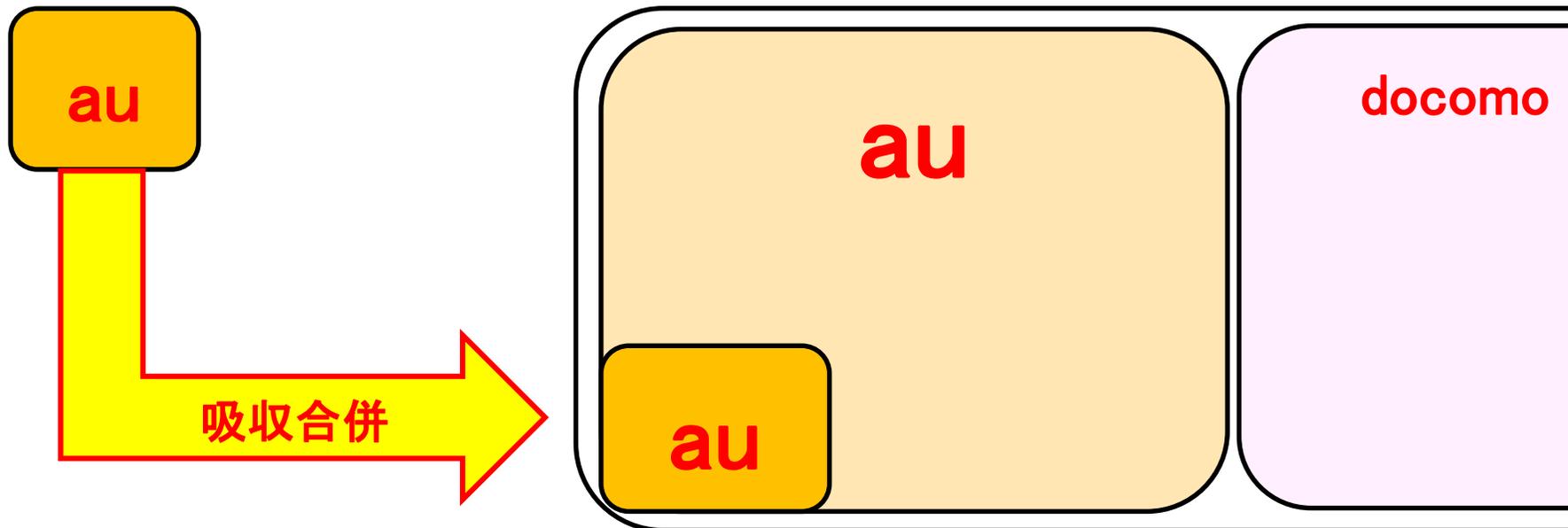
②ITX 西日本モバイルを、ITXへ吸収合併

au

(株)ノジマの子会社である西日本モバイル(株)を、
2018年4月1日付でアイ・ティー・エックス(株)へ吸収合併
auをより強化していく体制へ

 西日本モバイル





②ITX

ITX 人への投資

新卒採用で人の質を高めていく

新卒採用実績

	15年4月	16年4月	17年4月	18年4月	19年4月
ITX	57名	116名	162名	263名	350名 (予定)

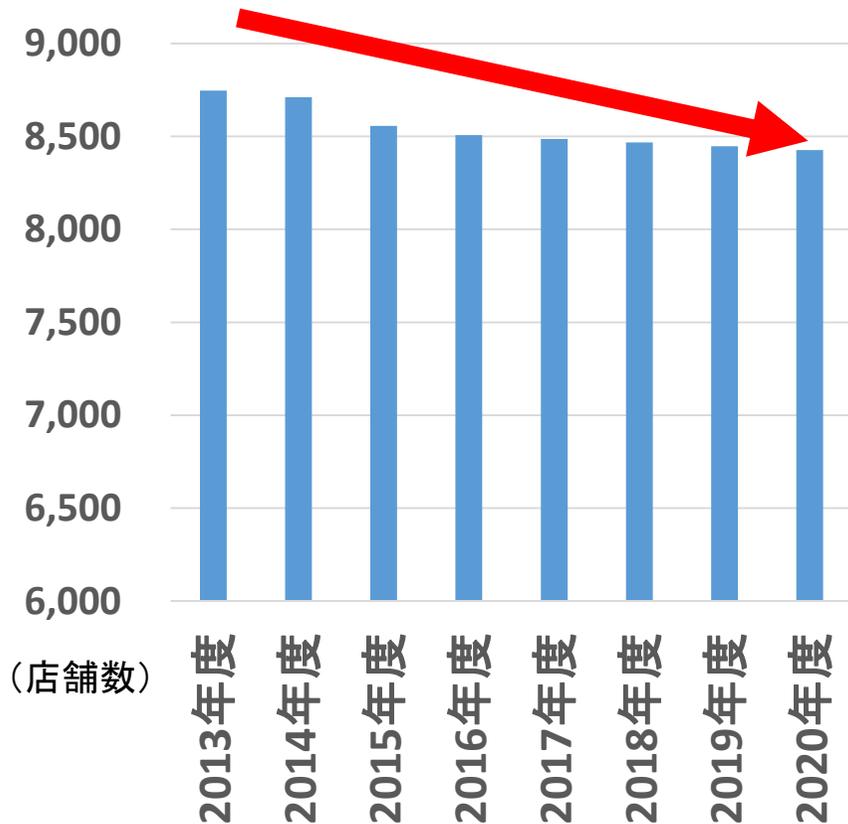
ノジマグループ入り

ノジマの教育ノウハウで、
お客様に喜ばれる集団へ

②ITX

店舗への投資

市場のキャリアショップの
店舗数は減少予測



既存店舗の改装を推進・
よりよい移転先を探していく

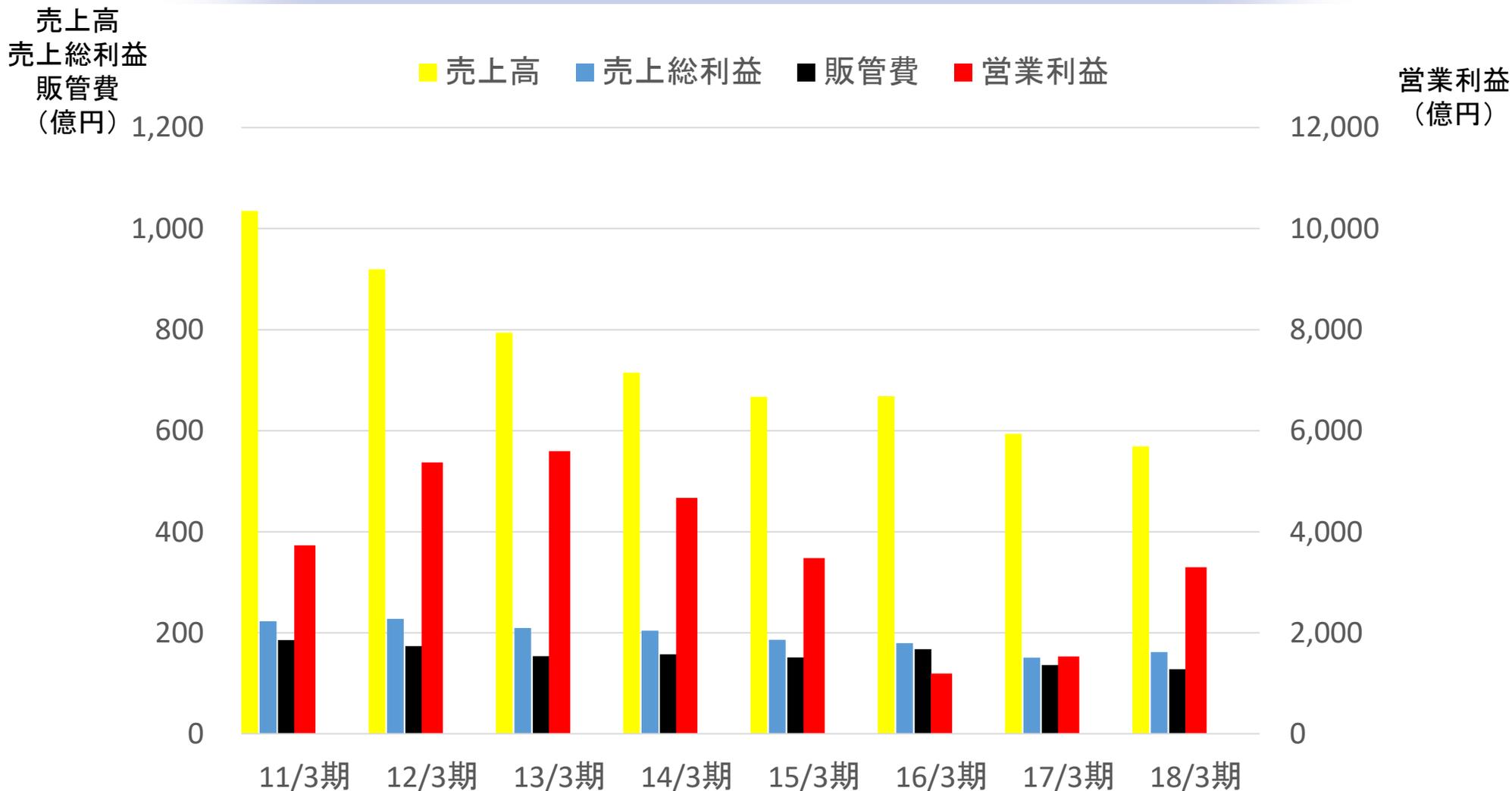
2019年3月期（通期）
キャリアショップ目標

改装40店舗

出典：シードプランニング2015年版
携帯電話販売代理店・全国・地域別流通の現状及び将来動向

③ニフティ

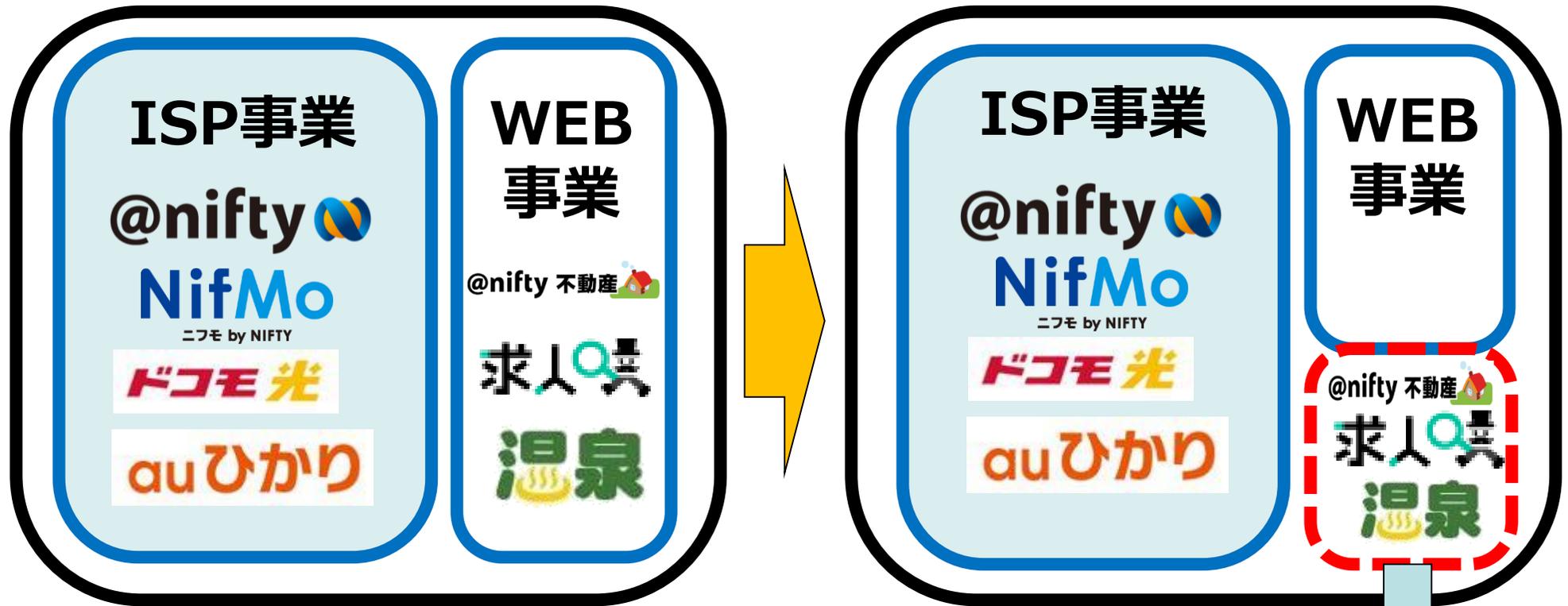
損益計算書 業績の推移



※16/3期までは有価証券報告書より、17/3期は買収した事業のみで算出しています。
 ※18/3期は、ニフティ(株)買収関連ののれん償却費等の2,388百万円は、ノジマ連結の際に計上する為含めておりません。

③ニフティ

WEB事業分社化



WEB事業のうち、一部有望サイトを分社化
2018年4月「ニフティライフスタイル(株)」スタート

IV. 2019年3月期 業績予想



Nojima 株式会社ノジマ

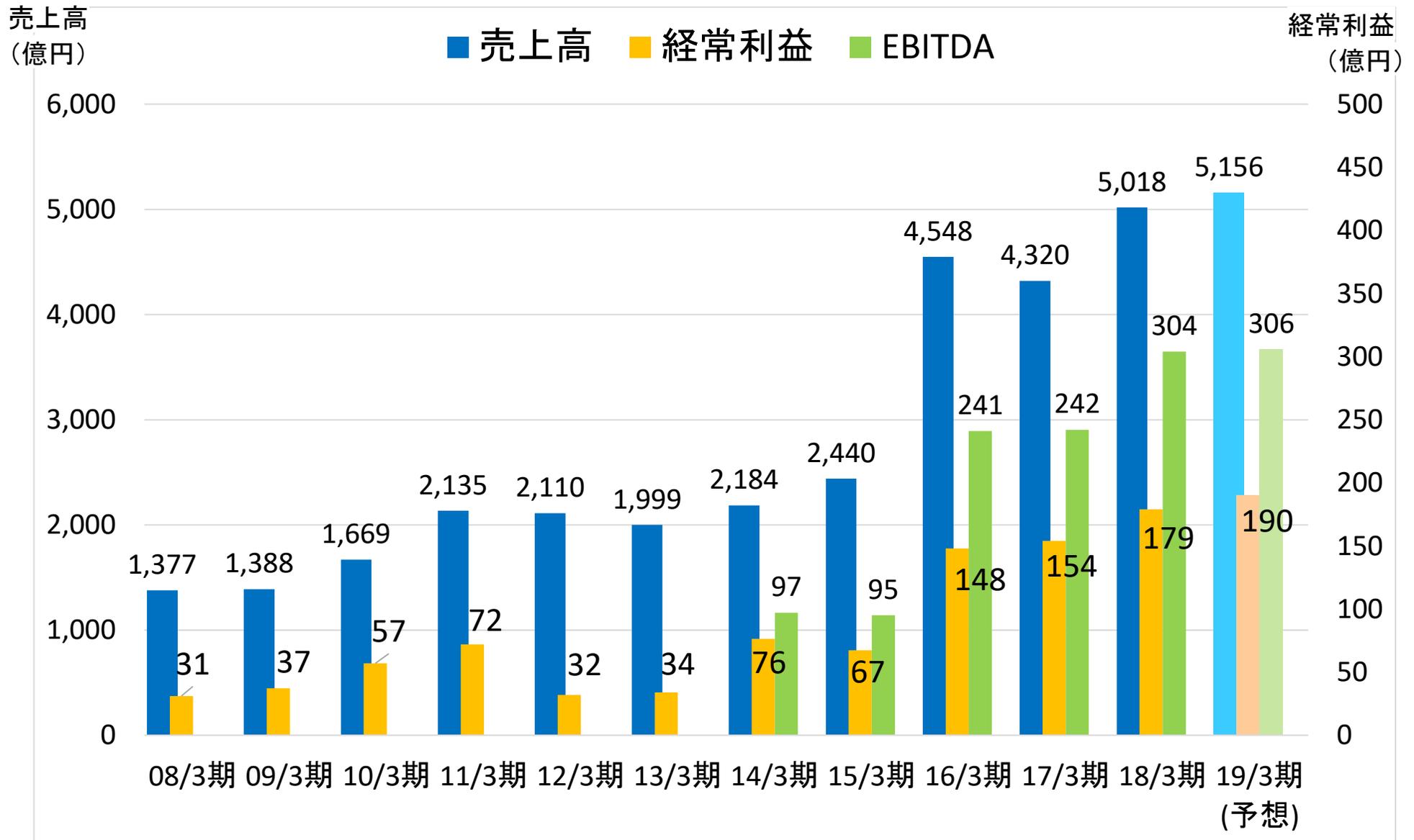


ノジマ連結 2019年3月期 業績予想

(単位:百万円)

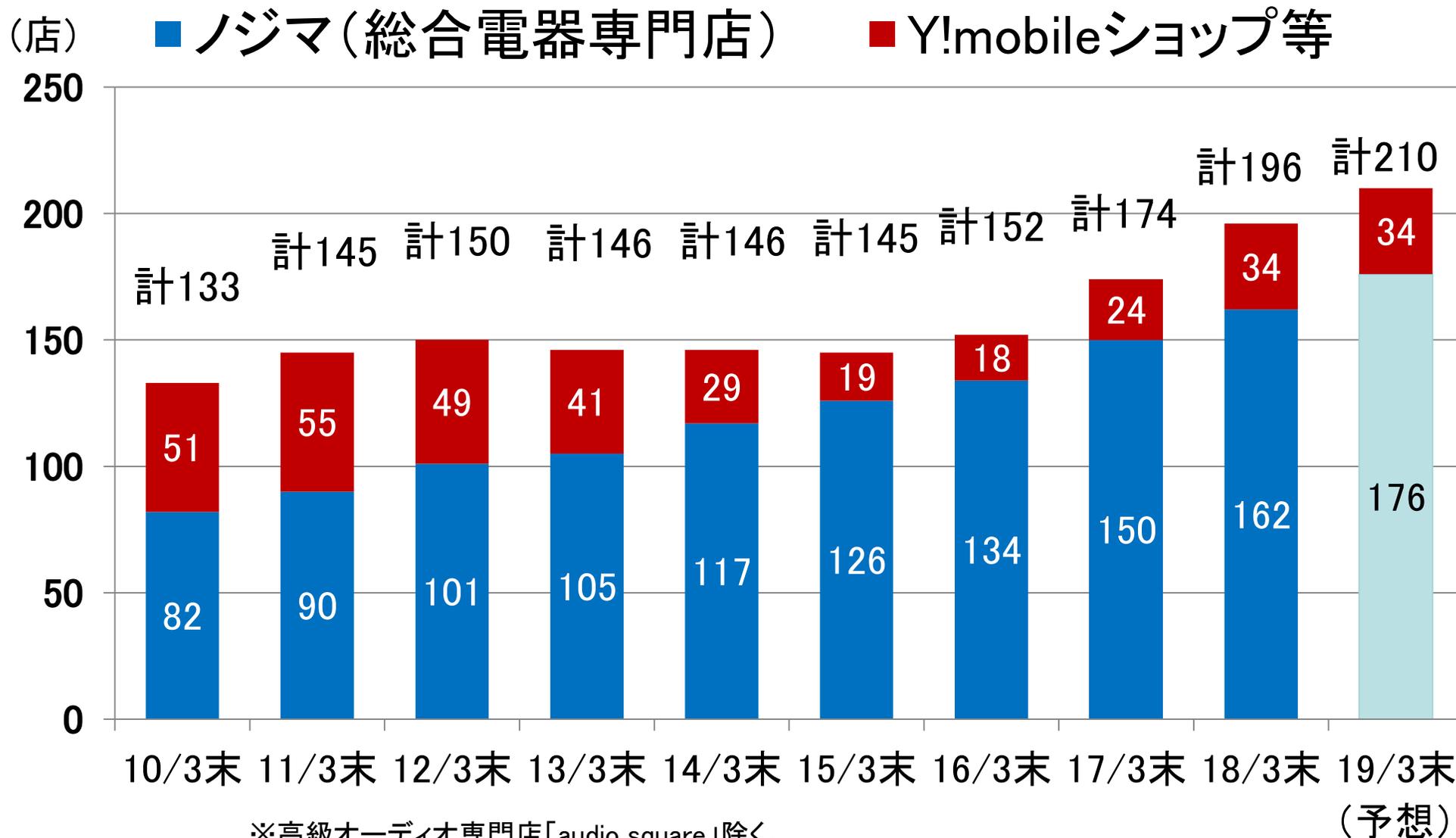
	17/3期	18/3期		19/3期	
	実績	実績	対前年比 (%)	予想	対前年比 (%)
売上高	432,064	501,890	116.2	515,600	102.7
営業利益	15,091	17,044	112.9	17,900	105.0
経常利益	15,479	17,935	115.9	19,000	105.9
当期純利益	10,158	13,634	134.2	14,000	102.7
EBITDA	24,250	30,443	125.5	30,600	100.5
のれん償却前 当期純利益	15,998	21,949	137.2	22,300	101.6

ノジマ連結 売上高・経常利益推移 予想



	デジタル家電専門店 運営事業	キャリアショップ 運営事業
新店	20	22 (うち、移転17店)
閉店	6	17 (うち、移転17店)
純増	14	5
改装	30	40

デジタル家電専門店運営事業 店舗数推移

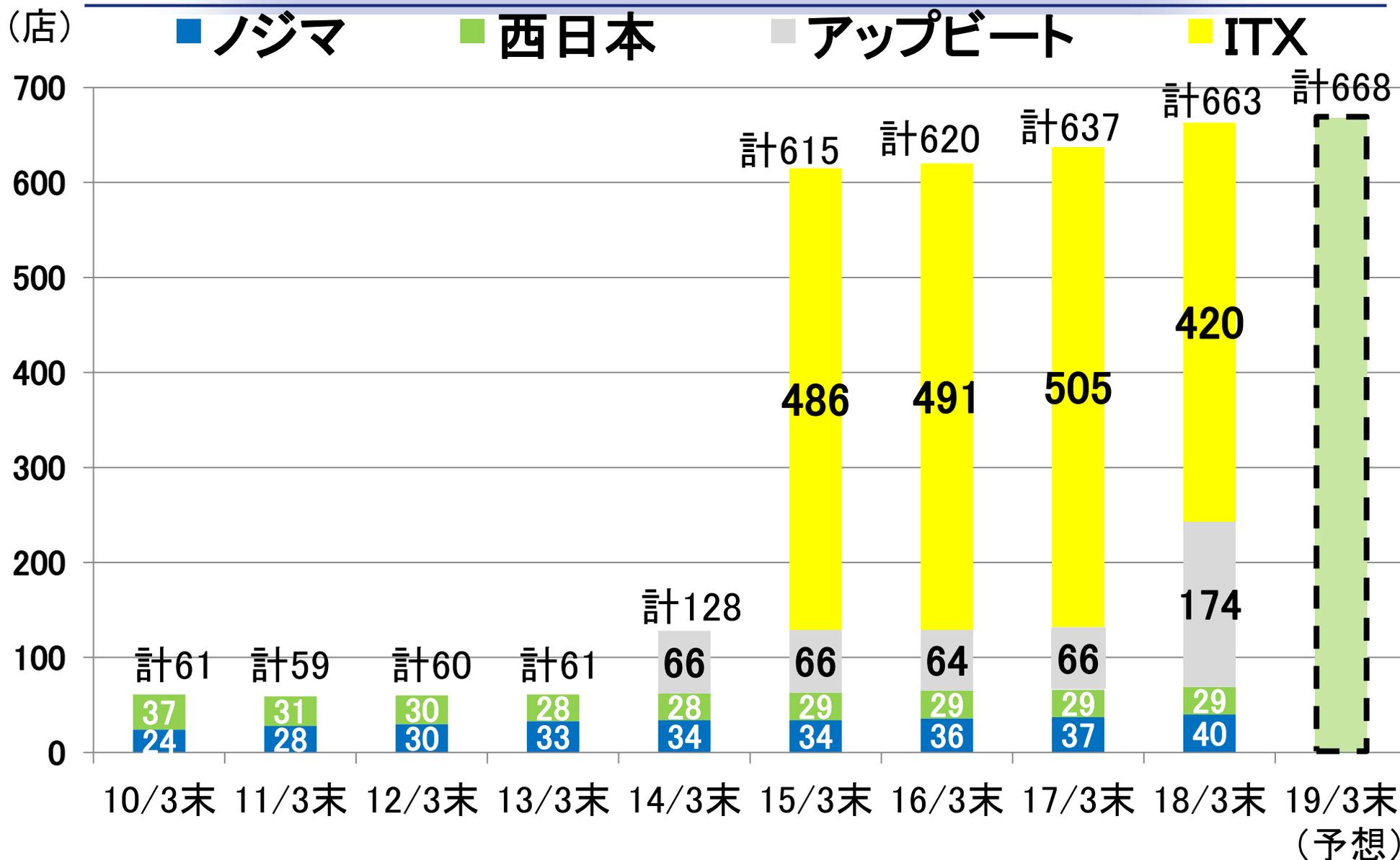


※高級オーディオ専門店「audio square」除く。

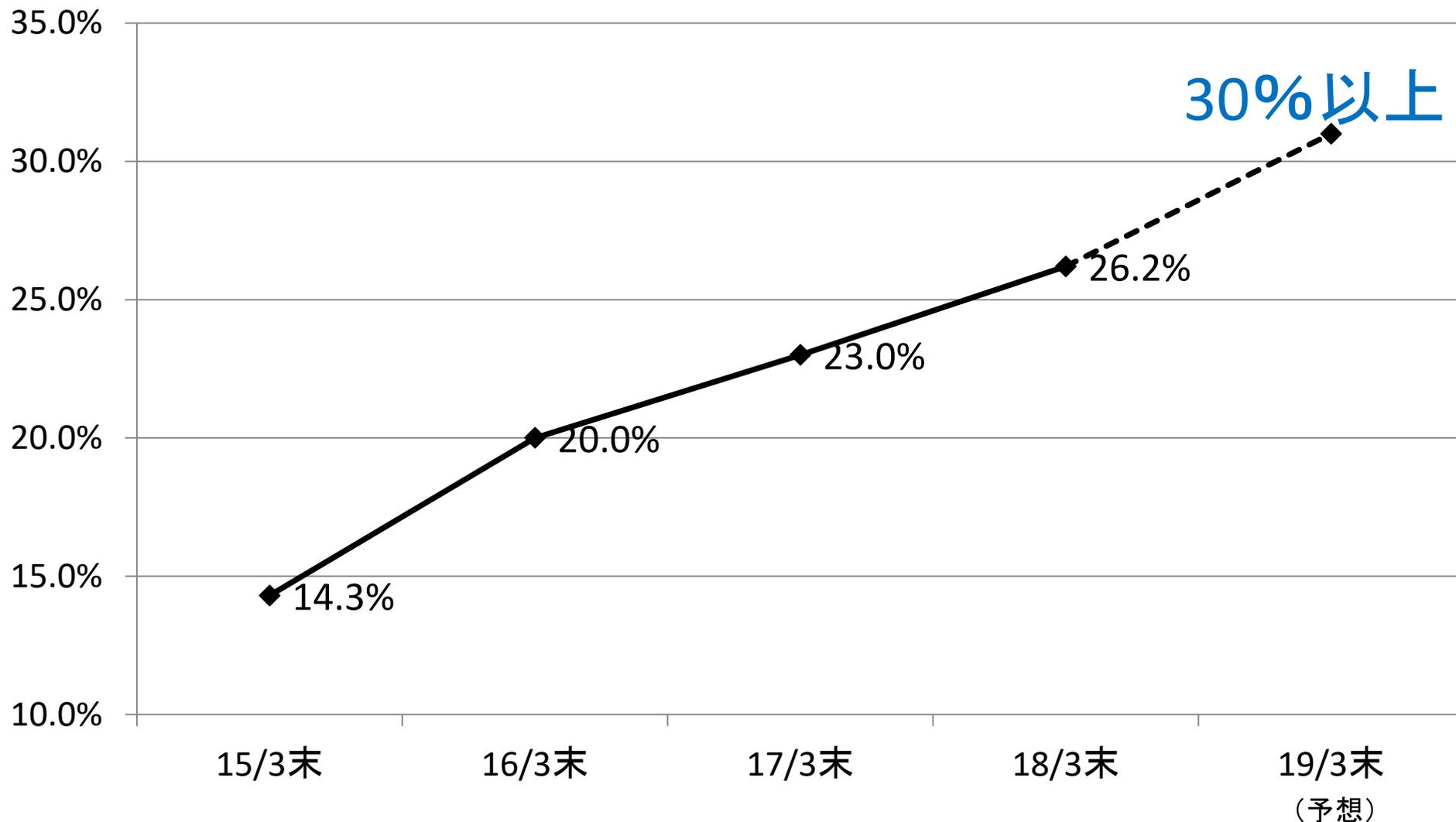
※海外子会社の運営する直営店1店舗は含めておりません。

※Y!mobileショップ等: 16/3末は18店舗の内3店舗、17/3末は24店舗の内16店舗、18/3末は34店舗の内28店舗がY!mobileショップです。

キャリアショップ運営事業 店舗数推移

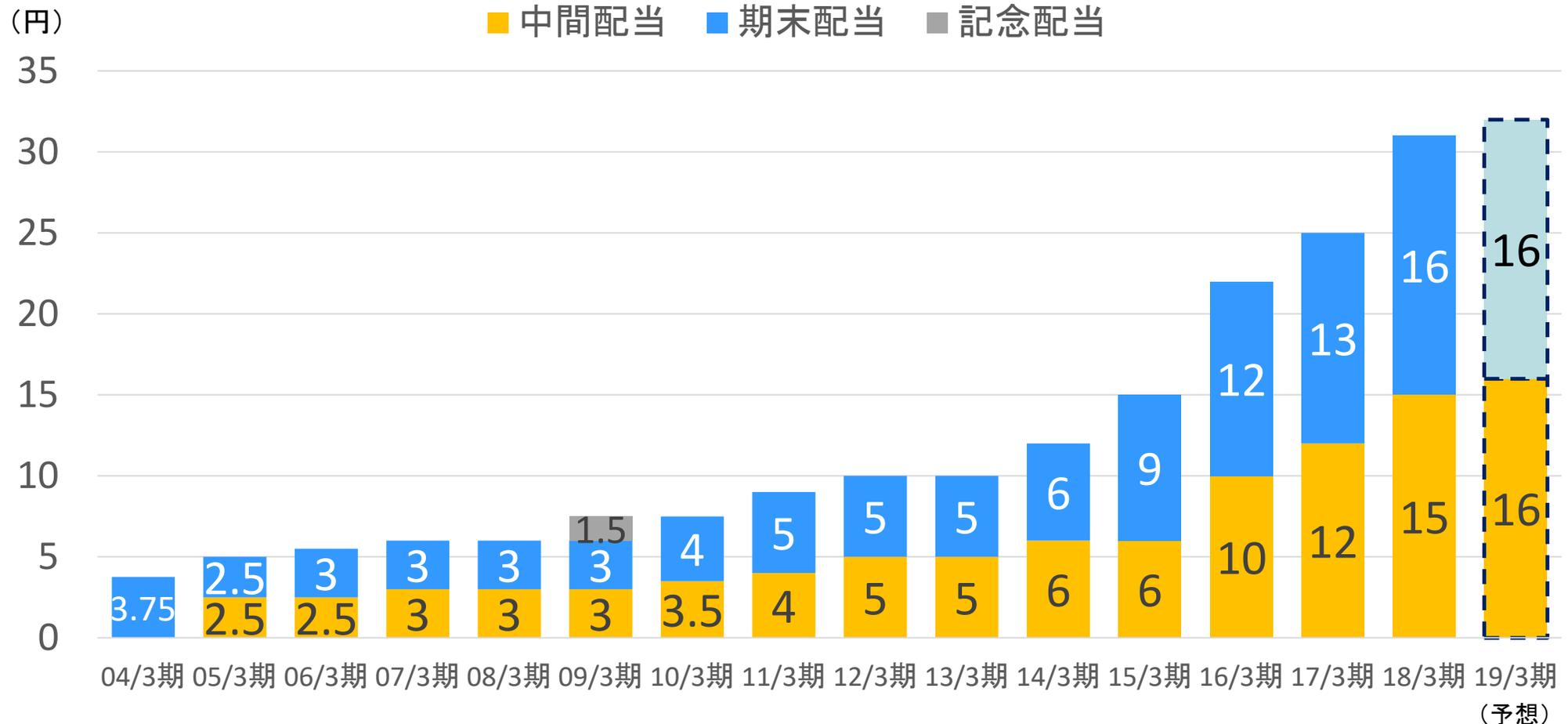


ノジマ連結 自己資本比率推移



配当金推移

財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保を勘案し、
継続して安定した配当を実施



※2015年7月に、1株につき2株の割合をもって株式分割を行っており、遡及修正済みです。

V. 社会・地域貢献



寄付による社会貢献

1984年から、当期利益の1%または経常利益の0.4%を限度額として当社の出店している地域の自治体に現金及び商品券、省エネ製品、家電などを31年間寄付し続けている。

創業25周年、30周年、40周年、50周年にも寄付

2017年は、**51百万円分**を寄付

スポーツを通じた社会・地域貢献活動

① ノジマステラ神奈川相模原



「(株)ノジマステラスポーツクラブ」が運営する女子サッカーチーム
神奈川県初、なでしこリーグ1部昇格

●地域イベントへの積極的参加

- ・相模の大凧まつり
- ・相模原市民桜まつり
- ・相模川芝ざくらまつり
- ・横山公園人工芝セレモニー

●地元小学校との交流

- ・サッカー教室の実施
- ・夢授業の実施

●募金活動

- ・赤い羽根共同募金



スポーツを通じた社会・地域貢献活動

② 横浜DeNAベイスターズ

2008年より公式ユニフォームスポンサーとして地元球団を応援

- ノジマ デジタル一番星DAYの開催
- エルソニックとのコラボ商品の開発



スポーツを通じた社会・地域貢献活動

③ ノジマ相模原ライズ

社会に貢献するアメリカンフットボール
チーム



④ ノジマチャンピオンカップ 箱根シニアプロゴルフトーナメント

「シニア層と箱根の街を元気に」という思いから、
火山活動の影響を受けた「箱根カントリー倶楽部」に
て開催



お問合せ・注意事項

IRに関するお問合せ先

株式会社ノジマ

〒220-6126 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3
クイーンズタワーB 26階

TEL:050-3116-1220

財務経理部

■ 将来見通しに関する注意事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません
- 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません
- また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予測と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください
- また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保障するものではありません
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません